

なぜなぜ
ヒント①

これからの移動手段の多様化の検討を

中山町民の多くが、町外に頼っている現状を理解しています。その背景には、「車があることが当たり前の生活」であるため、町外への移動に不便を感じていないという意識が大きく影響しています。しかし、「車があると便利」ということは、裏を返せば「車がないと不便」であり、公共交通が十分でないことから、町内での移動が困難だとう声も聞かれました。高齢化率が上昇する中で、

「町内である程度のことが貰える」環境を整えることは、多世代が安心して暮らせるまちづくりにつながります。公共交通の利用促進やタクシー補助、近隣での移動の工夫など、移動手段の多様化に関するアイデアが複数挙がり、参加者が交通課題に対して当事者意識を持って向き合っていることも伝わってきました。

なぜなぜ
ヒント②

安心感を育むまちづくりに期待

公共施設の再配置にあたっては、子どもの遊び場や医療・福祉関連施設など、現在町外に頼っている機能を町内に集約してほしいという意見が寄せられました。また、「町外の人が中山町に『行きたい!』と思える場所になってほしい」との声もあり、多世代が楽しめるイベントの開催や、車を利用する大人向けの企画の充実が期待されています。

さらに、近年中山町では自然災害が発生しており、いざという時に町民が安全に集まれるよう、防災面でも安心できる施設であってほしいという要望も聞かれました。すべての機能を町内に備える必要はありませんが、「町内にある」という安心感を多方面で満たすことは、今後のまちづくりや公共施設のあり方を考える上で重要です。

なぜなぜ
ヒント③

町民主体でつくる未来

今回の「なぜなぜ大会議」では、参加者の皆さんから「町民同士でアイデアを出し合い、主体的に動いていくことが大切だ」という意見が多く寄せられました。町民が町外へ出かけやすい一方で、町外の人が中山町に立ち寄る機会が少ない現状に対し、「イベントの企画や情報発信など、人を呼び込む仕掛けを積極的に考えていく」といったアイデアや、「歩いて買い物に行ける選択肢を増やすために、買い物マップを作成しよう」といっ

た提案も出されました。こうした声が上がること自体が、まちづくりに対する前向きな姿勢の表れであり、非常に意義深いものです。また、「課題を共有し、情報交換を行う場が重要だ」として、継続的な対話の場づくりを求める声もありました。町民の主体的な関わりからアイデアが形となり、町の動きにつながっていくような意識の醸成が、今後のまちづくりにおいてはとても大切であると考えます。

公共施設再配置計画については、その必要性が「第6次中山町総合発展計画」にて説明されています。以下URLまたは、右記コードよりご確認ください。

◎中山町「第6次中山町総合発展計画を策定しました」

<https://www.town.nakayama.yamagata.jp/soshiki/seisaku/machidukurisuishin/214.html>



【主催】中山町総合政策課まちづくり推進グループ・総務広報課防災安全対策室
(中山町大字長崎120番地/電話:023-662-4899)

【制作】東北芸術工科大学デザイン工学部企画構想学科 田澤ゼミ

〈2026年1月発行〉



さまざまなことを町の外に頼っているのは、なぜ?

中山町では、現在策定を進めている「第6次中山町総合発展計画後期基本計画」及び「中山町公共施設再配置計画」をより良いものにするために、町民の皆さんのが普段の生活の中で感じている「もっとこうだったらしいのに…なぜ?」という不安・不満について、課題の根底と向き合い、その改善策を考える「なぜなぜ大会議」を今年8月に開催しました。このレポートでは、議論されたテーマの一つ「さまざまなことを町の外に頼っているのは、なぜ?」について、当日のワークショップで出された意見をお届けします。

昨年度の町民インタビューでは、車移動が前提となっている中山町の暮らしにおいて、「さまざまな場所へのアクセスが良い」と評価される一方で、町内での買い物や遊び場の選択肢が少なく、医療・福祉施設の不足に対する不安が、幅広い世代から聞かれました。こうした「町外に暮らしを頼る」状況は、若い世代にとって中山町を生活の場として選びにくくし、「大人になってから戻りづらい」という声にもつながっています。

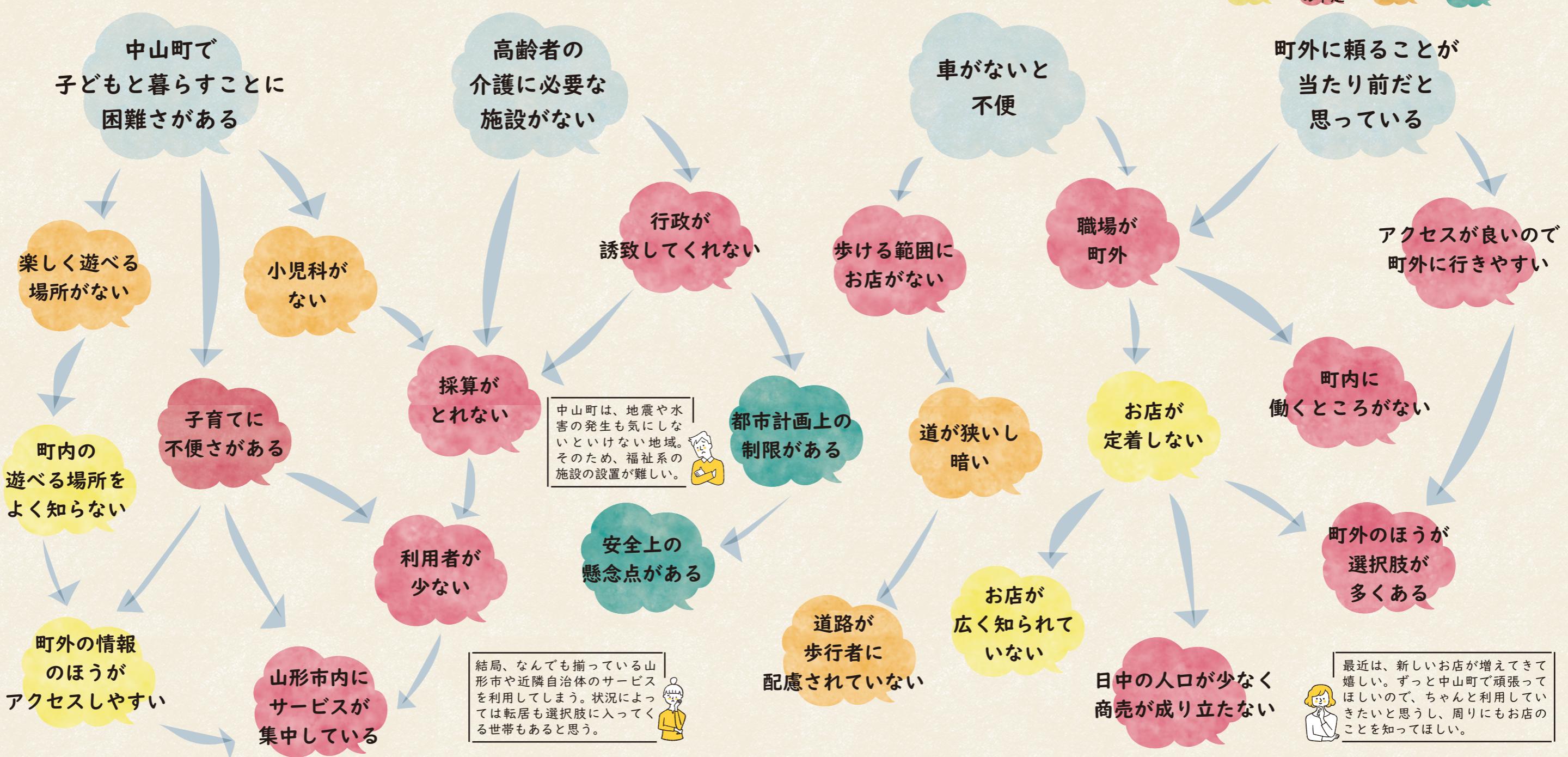
今回の大会議では、ハード面の整備からソフト事業の充実まで、さまざまな意見が出されました。特に「町民が積極的に意見を出し合うことが大切だ」という姿勢が多くの参加者に共有されました。



なぜなぜ連鎖マップ

「さまざまなことを町の外に頼っている」のは、なぜ？

仕組みの不足
場づくり（機会）の不足
空間の未整備
法規制上の問題



課題解決のために自分たちで取り組めうこと

住民同士で意見交換！
いろんなことを「当たり前」と捉えすぎていたかもしれない。今回のように、いろんな人の意見を聞きながら、これからの中山町のことを想像することは大事だと思う。

町の情報を積極的に発信！
中山町に興味を持つてもらうことが「町で過ごすこと」につながるはず。町民ならではの情報発信が大事！

日頃から公共交通を積極的に活用！
公共交通を「使わない」から「充実しない」のでは？車に頼り過ぎない暮らし方をできる範囲で実践することも必要だと思う。

近く同士で買い物へGO！
一緒に車に乗り合って買い物に行くことも検討してみては？

大人も楽しめるイベントを開催！

子どもだけでなく、大人にとっても「中山町ならではのイベント」があれば、町外から人を呼べるのでは？

買い物マップをつくろう！
すぐに「町外で買ってしまう」とならないように、何がどこで買えるのかが分かるマップがあったら便利！新しいお店も増えてきたので、ニーズもあると思う！

課題解決のために行政に期待したいこと

起業支援
「中山町でお店を開きたい！」「ビジネス拠点を中山町に持ちたい！」という事業主を積極的に支援することで、雇用も暮らす楽しさも生まれるのでは？

福祉面の充実
子どもや高齢者のために必要な機能は、やっぱり町の中にあってほしい。行政に積極的に誘致してもらえないだろうか。

安全性の確保

災害に備えたインフラの強化や、歩行者が安心できる歩道の整備等、公共事業で町の安全性を高めてほしい。

安心して車を手放すための支援

車を手放したくても、タクシーが少ないために、結局自分で運転するという手段を取らざるを得ない。安心して免許を返納するための仕組みを積極的に考えてほしい。

課題解決のために新しい公共施設に期待したいこと

医療・福祉関連施設の併設
医療モールがあるのが一番いいけれど…やっぱり小児科は欲しいかも。行政サービスだけでなく、商業も福祉も、いろんな機能がつまつた複合施設になつてほしい！

利便性の良い場所への設置
誰にとっても「立ち寄りやすい場所」になつてほしい。そのためには、交通の利便性向上は一番に検討してほしい！

屋内の子ども用遊び場
近隣の市町村の屋内遊戯施設が充実してあり、そこに子どもを連れていけばいいのかもしれないが、やっぱり町内にも欲しい。学童が併設されいたら、なお良い！